

# すみだ 区議会だより

'97.4.24

NO. 98

発行：墨田区議会事務局

130墨田区吾妻橋一丁目23番20号△5608-1111代表



「四月・隅田川・夕景」坪井長吉さん（業平一丁目在住）の作品です。※1面に掲載する写真を募集しています。

## 平成9年度予算成立

総額1343億2800万円 前年度比1・4%増

### ●第1回——定例会

墨田区議会は、平成9年第1回定例会を2月19日から3月28日までの38日間にわたって開きました。この定例会では、区長が平成9年度の施政方針を説明し、6名の議員が一般質問を行ったほか、区長から提出された総額1343億2800万円の平成9年度各会計の当初予算4件をはじめ全議案を原案どおり可決しました。  
また、議員提出の「成人歯科健診事業の充実に関する意見書」を含む議員提出議案4件を全会一致で可決しました。

### ▲6名の議員が一般質問

2月25日と26日の本会議において、自由民主党、公明、日本共産党、区民クラブから6名の議員が

### ▲可決した主な議案

#### ■墨田区組織条例の一部を改正する条例

平成12年度に予定されている清掃事業の移管に向け、清掃車庫等の整備事業を本格的に展開することに伴い、清掃事業移管準備事務等を、リサイクル事業等を所管する地域振興部の分掌事務とするものです。

#### ■墨田区職員定数条例の一部を改正する条例

業務の民間委託の推進、事務事業の見直し等に伴い、職員の定数を削減するものです。

#### ■墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例

特別区国民健康保険事業調整条

例に基づき東京都が平成9年度の保険料率を告示したことに伴い、保険料率を同様の率に改定するものです。

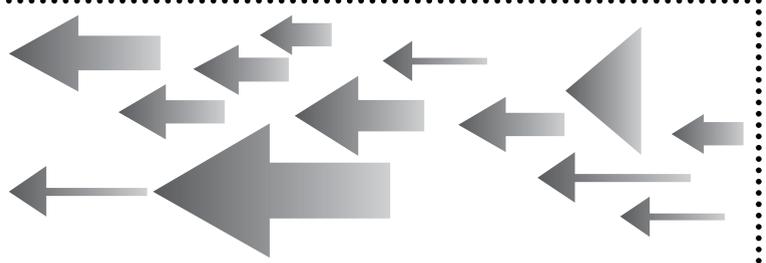
#### ■墨田区保育所入所措置及び費用徴収に関する条例

昭和59年以降据え置いている保育料及び延長保育料の額を引き上げるとともに、現在、規則で定められている保育料の額等費用徴収に関する規定を条例で定めるものです。

#### ■成人歯科健診事業の充実に関する意見書

老人保健法に基づく歯周疾患健診の対象年齢拡大を要望するものです。このほか、3件の意見書を可決しました。(3面参照)

会議日程——(会期38日間)		
第1回定例会中に開かれた主な会議は次のとおりです。		
2月19日	本会議	・会期の決定 ・施政方針説明
24日	議会運営委員会 区議会だより 編集委員会	・本会議の議事運営 ・第98号の発行について
25日	本会議	・一般質問
26日	本会議 予算特別委員会	・一般質問 ・区長提出議案の審査・委員会付託 ・正副委員長互選
3月3日～12日	予算特別委員会	・付託議案の審査
13日	区民商工建設委員会	・付託陳情の審査等
17日	地域振興文教委員会	・付託請願の審査等
21日	厚生保健委員会	・付託陳情の審査等
24日	企画総務委員会	・付託請願の審査等
27日	議会運営委員会 区議会だより 編集委員会	・本会議の議事運営 ・会議日程の周知方法について
28日	本会議 区民商工建設委員会 議会運営委員会	・議案の議決 ・区長提出議案の委員会付託 ・付託議案の審査 ・本会議の議事運営



# 区政を問う!

## 一般質問

2月25日と26日の2日間  
にわたって、自由民主党、  
公明、日本共産党、区民ク  
ラブから、6名の議員が、  
平成9年度予算編成、ボラ  
ンティア教育の充実、区長  
の政治姿勢、地方分権推進  
などについて、区長、教育  
長及び選挙管理委員長に対  
して一般質問を行いました。

## 平成9年度予算編成にあたっての基本的な考え方は

**問** 平成9年度予算編成の区長の基本的な考えを伺う。

これまでの区債発行の考え方に  
ついて及び今後どのように区債残  
高を減少させるのか。  
都区協議会における都区財政調  
整について、今後、どのような姿  
勢で臨んでいくのか。  
事務事業評価制により幾つかの  
事業が廃止等とされたが、これら  
をどう評価し、今後どうするのか。  
また、繰り延べ事業の基本的考  
え方を伺う。

**答** 基本構想の目標を着実に実  
現できるように予算を編成  
した。区債は、後年度に負担を分  
配すべき事業に充当してきた。減

## 自由民主党

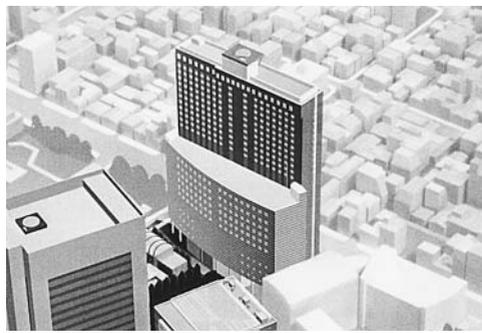
債対策は、決算剰余金の一定率を  
財政調整基金に積み立てていく。  
都区財政調整では繰り延べ措置を  
早い時期に解決するよう努力する。  
事務事業評価制は、一定の成果  
を見たが、改善を加え取り組む。  
繰り延べ事業は、優先度等によ  
り順次着手する。平成9年度に、  
計画の見直しを行う。

## 行政改革に向けて区の内部努力を

**問** 区長が、平成9年度を「行政  
改革元年」と位置付けて  
取り組む強い姿勢を高く評価する。  
区長の行政改革に対する基本的

な考えを伺う。  
行政改革を遂行するうえで、い  
かに区の内部努力をするかが区民  
の理解を得るうえで重要であり、  
最大の努力をしていかなければなら  
ない。「区民と区のコミュニケー  
ションの仕組みづくり」として  
どのような方策を考えていくのか。  
あらゆる分野を対象に行政  
改革に取り組み、自立的・  
効率的な行政システムを確立し、  
住民福祉の一層の向上と活力ある  
地域づくりを実現する決意である。  
区民と区とのコミュニケーション  
の改善方策では、町会・自治会  
について地域担当員制度を平成9  
年度から実施する。いづれにして  
も区民の声を肌で感じられるよう  
な仕組みづくりに努めていく。

## 国際ファッションセンター



国際ファッションセンターのイメージ図

**問** 平成元年に「ファッション  
センター基本構想」が提示  
されているが、その事業主体とし  
ての第3セクターのメリットは何  
か。交流機能としてのホテル機能  
との連携をどう考えるか。区が国  
際ファッションセンターを建設運  
営するより、第3セクターの方が  
50億円の無利子融資を行っても区  
にメリットがあると考えられるか。  
また、その融資の財源は何で  
いつ、どのように行われるのか。

**答** 区では、ボランティアセン  
ターを中心に、ボランティア  
活動への参加啓発を行っている。  
教育委員会では、ボランティア  
活動について、総合的な学習や課  
題学習の中で、生徒等の発達段階  
や学校・地域の実態に応じた指導  
をしていく。また、各学校の教育  
課程編成時に明確に位置付けるよ

**答** 第3セクターは、行政と民  
間双方の資源を生かせる。  
ホテルは、基本構想から交流事  
業の場としての活用が提起され、  
必要な施設である。第3セクター  
方式であると、借地権利金と地代

## ボランティア教育の充実を

**問** いじめ問題の根本的な解決  
策が見いだせない現在、ボ  
ランティアへの参加は青少年の心  
のケアとして有効な対策である。  
将来を担う青少年の健全育成とい  
う意味からも各学校のボランティ  
ア活動への取り組みに格差がない  
よう教育委員会だけでなく全庁あ  
げて特に厚生部や地域振興部の受  
け入れ態勢の協力を得て授業の中  
にボランティア教育、体験学習に  
取り組むべきと考えられるが区長並び  
に教育長のご所見をお伺いする。

**答** 区では、ボランティアセン  
ターを中心に、ボランティア  
活動への参加啓発を行っている。  
教育委員会では、ボランティア  
活動について、総合的な学習や課  
題学習の中で、生徒等の発達段階  
や学校・地域の実態に応じた指導  
をしていく。また、各学校の教育  
課程編成時に明確に位置付けるよ



ボランティアセンター

## 余裕教室の積極的活用を

**問** 東京都の余裕教室検討会報  
告は、高齢者等の福祉ニ  
ズの増大に対応し福祉サービ  
スを身近な地域で整備促進するた  
め、都内の公立小中学校の余裕教  
室活用に必要課題に触れている。  
新たな施設建設は、厳しい財  
政状況では、今後益々困難になる。  
急激な高齢化に対し、十分な施  
設が確保されるまで在宅支援セン  
ター施設の空白地域を中心に小中  
学校の余裕教室利用を積極的に検  
討すべきと思うがいかがか。

**答** 区民ニーズに応じて在宅サ  
ービスセンターを増やすた  
めには、小学校等の余裕教室活用  
は欠かせない検討課題と考える。  
地域への身近な施設、財政負担の  
軽減及び整備期間の短縮という意  
味からも前向きに検討していく。  
余裕教室活用方策の見直しは、  
行革課題なので高齢者在宅サービ  
スセンターの活用も今後検討する。  
授業に支障が生じない方法を工夫  
し、高齢者と児童の双方にメリッ  
トある施設として形を探っていく。

## 委員会の焦点

### 「主な審査結果等」

区議会では、本会議に提出された条例等の議案や、受理した請願・陳情を  
審査・調査するために、4つの常任委員会を設置し、専門的な立場から審議  
しています。

今定例会中での常任委員会もようは、次のとおりです。

企画総務委員会  
墨田区職員定数条例の一部を改  
正する条例を可決

区民商工建設委員会  
墨田区国民健康保険条例の一部  
を改正する条例を可決

3月24日

**議案** 墨田区職員定数条例の一  
部を改正する条例・業務の民間委  
託の推進、事務事業の見直し等に  
伴い、職員の定数を改めるもの  
— 起立表決の結果、原案どおり  
可決すべきものと決定した。

**議案** 墨田区長等の退職手当に  
関する条例の一部を改正する条例  
…区長等の退職手当支給の適正化  
を図るため、同手当の返納規定を  
設ける等のもの — 原案どおり可  
決すべきものと異議なく決定した。

**報告** 防災待機職員住宅の建設  
計画について — 業平3丁目2番  
に建設される防災待機職員住宅の  
建設計画について報告があった。

**報告** (仮称) スポーツ健康セ  
ンターについて — (仮称) スポ  
ーツ健康センターについて、基本  
設計の中の各施設の内容・構成の  
概要報告があった。

3月13日

**議案** 墨田区国民健康保険条例  
の一部を改正する条例・特別区国  
民健康保険事業調整条例に基づき  
東京都が平成9年度の保険料率を  
告示したことに伴い、保険料率を  
同様の率に改定するもの — 起立  
表決の結果、原案どおり可決すべ  
きものと決定した。

**議案** 墨田区特別区税条例の一  
部を改正する条例…区民税に係る  
前納報奨金制度を廃止するもの —  
原案どおり可決すべきものと異  
議なく決定した。

**陳情** 国民健康保険料の大幅値  
上げ反対に関する陳情 — 起立表  
決の結果、「趣旨に沿い難い」と  
の理由により、不採択とすべきも  
のと決定した。

3月28日

**議案** 墨田区国民健康保険条例  
の一部を改正する条例…特別区国  
民健康保険事業調整条例の一部改  
正に伴い、葬祭費の支給額を引き  
上げるもの — 原案どおり可決す  
べきものと異議なく決定した。



防災待機職員住宅建設予定地



区役所の税務窓口

# 区長の政治姿勢を問う

**問**

冷たい福祉の陰で、高齢者などが孤独死する事件が後を断たない一方で、厚生省汚職やオレンジ共済事件などが起き、地方でも不正事件が相次いでいる問題をどう認識しているか。そして消費税引上げ等による9兆円もの負担増が区民生活に与える影響は深刻であり、区長が政府の暴挙に対し、糾弾する姿勢を示すことが区民を守る道だ。見解を問う。

**答**

行政の汚職や不正事件については、徹底した綱紀粛正と公務員倫理の確立を図ることは当然として、不正を生む土壌を正すため、厳しい自己点検と不正防止策などを定める必要がある。消費税の引上げ等による負担増について国民の理解を得るためには、国において行財政改革を断行することが不可欠である。



錦糸町駅北口再開発

## ●国際ファッションセンターへの融資等の法的根拠を示せ

**問** 錦糸町駅北口再開発に伴う負担金の減額を大企業にだけ認め、区長が独断で20億円もの権利放棄をした法的根拠を示せ。さらに、国際ファッションセンター建設に、議会にはからず区長が50億円の融資を了承した法的根拠と債務負担行為ではないとする明確な法的根拠を示せ。また、ケーブルテレビに、区が融資に対する利子補給をしている根拠を示せ。

**答**

負担金の減額措置は工事費の削減に伴うものであるが、その対象には区の施設が含まれておらず、権利放棄には当たらない。国際ファッションセンターへの融資については、本会議等でも表明している。今後、具体的な貸付けを行う際には改めて議会に諮る。

## 日本共産党

### ●保育料や国民健康保険料の値上げを撤回せよ

消費増税などを理由に、生活に関連する料金が大幅に値上げされようとしているが、区長は区民生活に与える影響をどう受け止めているか。さらに、国民健康保険料の値上げは、区民に重い負担を押し付け、保育料の値上げは、少子化に拍車をかけるとともに子育て支援に逆行する。こうした値上げは撤回せよ。

**答**

消費税率の引上げは、国民の負担増となる一方、増税分が福祉サービスの充実に充てられる側面もあり、両面から総合的に判断すべきである。国民健康保険料の値上げは制度の長期的安定の確保のためである。保育料の値上げは応益応能の原則に立ち、保護者に適正な負担をお願いするもので、子育て支援とは矛盾しない。

## 地方分権推進に対する見解を問う

**問**

中央集権体制の矛盾は、その解決を地方分権の中に見いだそうとしている。地方分権推進委員会は、本年6月の第2次勧告の提出に向け作業を進めている。地方分権を実現するには、自治体の理念を確立し、区民付託に込めるに十分な政策立案・執行能力を確立することで実現される。

**答**

地方分権推進に対し、どのような見解と姿勢で、具体的にどう取り組み、行おうとしているのか。地方分権を意義あるものとするには、地域のことばは住

## 区民クラブ

民等の創意と団体の責任で処理することが重要である。各自治体に権限・責任・財政権を付与し、国の関与を最低限にする保障と、それらを受け入れる自治体の自治能力向上が求められている。区長会では、国に対し、特別区制度改革推進及び地方自治確立のための行財政制度改革等を要望している。

### ●行政改革の真の確立を

**問**

「国と地方の明確な役割分担」に対する明確な見解ぬきに本区の行政改革も実現しえないと考えるが区長の見解を問う。本区の行政改革を進めるにあたり、自治組織の確立なしに真の行政改革は望めず、組織が理念の具体化であるなら必置規制に対する現場からの批判がなされるべきと考えるが区長の見解を問う。

**答**

行政改革では、時代に即応した経営体にしていくため、不断に事務事業のスクラップアンドビルドを徹底し、自己革新を推進することが極めて重要である。必置規制は、部分的に見直され

## 今定例会で議決した意見書(要旨)

### 成人歯科健診事業の充実に関する意見書

高齢社会を迎えた我が国において健康な歯を一本でも多く保持することは極めて重要なことである。成人が歯を失う原因の多くは歯周病の予防には、早いうちからの定期的な健診が必要だが、現在の老人保健法に基づく歯周疾患健診では十分とは言えない。高齢者になってからも健康な心身を保ち、心豊かに生活できるようにするため、歯周疾患健診の受診対象年齢の拡大をはじめ、歯科健診制度のさらなる充実に努めるよう強く要望いたします。

内閣総理大臣・大蔵大臣・厚生大臣 あて

### 動燃爆発事故の原因究明に関する意見書

動力炉・核燃料開発事業団の爆発事故は、37人の被爆者を出し、広範囲内放射能汚染をひきおこすなど、国内の原子力事故では最大規模のものであると伝えられています。「もんじゅ」事故を含め、技術体系の不完全性を露呈したと言われるこのような事故を繰り返さないためにも、事故原因の徹底究明を速やかに行うことが肝要であります。よって、事故の原因究明を速やかに行うとともに、開発体制、安全審査体制を含め、徹底した調査を行いその結果を公表し、地域や自治体の納得が得られるよう強く要望いたします。

内閣総理大臣・科学技術庁長官・通商産業大臣 あて

### 都区財政調整制度における調整率引き上げ等に関する意見書

景気が回復基調にあるとはいえず、区収入などに大きな伸びが期待できず、区財政を取り巻く状況は、非常に厳しいものとなっております。こうした中において、特別区が住民に最も身近な自治体として、今日の多様な行政需要に応えていくためには、特別区財政調整交付金は極めて重要な財源であります。よって、特別区の住民ニーズに対応した行政の健全な運営を図るためにも、現在の特別区財政調整交付金における繰り延べ措置の速やかな復元と調整率の引き上げを強く要望いたします。

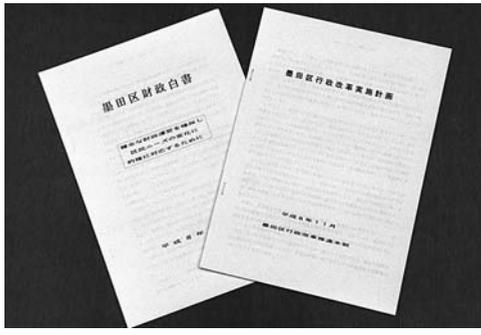
東京都知事 あて

**問**

「国と地方の明確な役割分担」に対する明確な見解ぬきに本区の行政改革も実現しえないと考えるが区長の見解を問う。本区の行政改革を進めるにあたり、自治組織の確立なしに真の行政改革は望めず、組織が理念の具体化であるなら必置規制に対する現場からの批判がなされるべきと考えるが区長の見解を問う。

**答**

行政改革では、時代に即応した経営体にしていくため、不断に事務事業のスクラップアンドビルドを徹底し、自己革新を推進することが極めて重要である。必置規制は、部分的に見直され



墨田区財政白書及び墨田区行政改革実施計画

### 学校給食民間委託と小学校への拡大反対等に関する請願は不採択に

3月17日

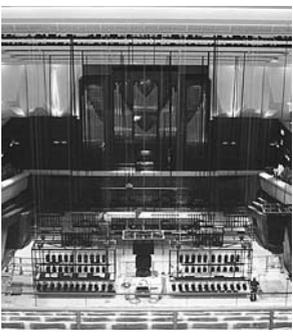
【請願】 学校給食の民間委託と小学校への拡大反対等に関する請願は、起立表決の結果、「趣旨に沿っていない」との理由により、不採択とすべきものと決定した。

【報告】 すみだトリフォニーホール開館に向けた準備状況について

本年10月に開館予定である「すみだトリフォニーホール」の建設工事等の日程や開館記念公演の予定等について報告があった。

【報告】 住宅マスタープランの見直し(案)について

平成3年度に策定した「住宅マスタープラン」は、おおむね5年ごとに見直しを行うこととしており、この5年間で本区の住宅を取り巻く状況に変化が生じてきていることから、今回見直しを行ったもので、その概要について報告があった。



すみだトリフォニーホール

### 墨田区保育所入所措置及び費用徴収に関する条例を可決

3月21日

【議案】 墨田区保育所入所措置及び費用徴収に関する条例(保育料及び延長保育料の額を引き上げるとともに、現在、規則で定めている保育料の額等費用徴収に関する規定を条例で定めるもの) 起立表決の結果、「保育料改定の実施にあたっては、保護者の理解と協力が得られるよう十分配慮するとともに、今後も保育内容の充実など子育て支援施策の推進に一層努力されたい。」との付帯決議を付して原案どおり可決すべきものと決定した。

【陳情】 現行の保育所措置制度の維持・拡充に関する陳情

委員から「制度が変わっても、保育園入所待機者が多く機能しないのではないか」などの意見が出され、閉会中も継続審査するものとした。



のびのびと

## 地下鉄8号線の北上についての建設促進を求め要請

1月21日、29日の両日において、墨田区議会交通対策特別委員会の委員長及び副委員長が、他4区の交通関係の委員会の委員長等とともに「地下鉄建設促進五区協議会」の活動として、14区選出及び墨田区在任の衆議院議員に、「地下鉄8号線の建設促進に関する要請書」を手渡しました。

地下鉄8号線は、昭和63年に営団有楽町線として新木場まで開通して以来、沿線住民の利便性確保

や沿線地域の活性化と発展に大きく貢献しています。豊洲駅から分岐して亀有に至る、いわゆる地下鉄8号北上線は、昭和57年の営団による免許申請のあたり、未だ運輸大臣から免許が下りないままとなっています。

8号北上線は、生活の足の確保及び沿線まちづくりの根幹の路線として、また、東京臨海地域への東部地域からのアクセス路線として、東京東部における交通機関となることが期待されており、一日も早い実現が熱望されています。

# みなさんの声

「請願・陳情の  
審査結果」

今定例会に提出された請願2件と陳情8件のほか、平成8年第4回定例会で継続審査となった請願1件と陳情1件について、所管の委員会で審査され、最終日の本会議で次のとおり決定いたしました。

## ■採択としたもの

◎意見書を提出したもの

▽成人歯科健診事業の充実に関する陳情

第1項 老人保健法に導入された歯周疾患健診を40歳と50歳に限らず、対象年齢を拡大するなど、入れ歯にならなため歯科健診制度を確立するよう、国に対し意見書を提出すること

◎「趣旨に沿うよう努力されたい」との意見を付して採択したもの

▽成人歯科健診事業の充実に関する陳情  
第2項 自治体独自でも成人歯科健診事業の充実に取り組むこと

◎「趣旨に沿いにくい」との理由により不採択としたもの

▽国民健康保険料の大幅値上げ反対に関する陳情  
第2項 自治体独自でも成人歯科健診事業の充実に取り組むこと

に「賛成」の立場で、日本共産党が、用地特別会計予算を除く予算3件に「反対」の立場でそれぞれ意見を述べた後、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、老人保健医療特別会計予算については、起立表決によりいずれも賛成多数で、原案どおり可決すべきものと決定し、用地特別会計予算については、原案どおり可決すべきものと異議なく決定しました。

## ■予算特別委員会委員名簿

田中 邦友 ◎中村 光雄  
大久保 明 ○坂岸 榮治  
江木 義昭 加藤 耕造  
中嶋 常夫 佐藤 四郎  
出羽 邦夫 瀧澤 良仁  
小池 武二 早川 幸一  
松本 紀良 槐 勲  
鈴木 順子 大和久常雄  
坂下 修 西 恭三郎

◎委員長 ○副委員長

平成9年度各会計予算

一般会計	951億5200万円
国民健康保険特別会計	170億1600万円
老人保健医療特別会計	196億7800万円
用地特別会計	24億8200万円
総額	1343億2800万円

## ◎平成9年度予算に対する各会派の意見

### 自由民主党

賛成

### 公明

賛成

### 日本共産党

反対

### 区民クラブ

賛成

この度の予算は、現下の厳しい財政環境を反映して、計画事業の一部繰り延べ、事務事業の見直し、事務経費の大幅な圧縮等、取り得る限りの手立てを講じた編成の中で、わが党の要望も取り入れられたものと評価している。

依然続く厳しい財政環境の中で、「行政改革元年」と位置付け、可能な限り行政施策全般を見直し、区財政基盤の確立を目指していることは評価するものである。

自民党内閣は、消費税増税、医療改善、減税廃止で9兆円もの負担増をおしつけ、青島都政も、事業系ゴミの全面有料化につづき、各種公共料金の値上げをきめた。区もこれに追随し、国保料や保育料の値上げを強行し、負担増に追い打ちをかけている。

わが会派としては、提案された97年度予算については、厳しい財政状況を踏まえ、経費節減に努めつつ、行政サービスの低下を招くことなく、最小の経費で最大の効果を挙げるよう、一層の行政努力を要望して賛成いたします。

わが党は、平成9年度を「行政改革元年」と位置付け、区民への理解を求めるとともに、第一に行政組織のスリム化、第二に非常勤を含む職員の定数管理、第三に平成12年度には17・6%と推計される公債比率に、どのように対処するか、区長の英断と実行力に期待する。また、予算執行に当たっては、しっかりと理念と哲学を持ち、厳しい財政事情を乗り越え、区民ニーズに的確に対応できるよう一層の努力を切望する。

なお、保育料の値上げ問題については、昨今の消費税アップ、減税打ち切り、公共料金の軒並み値上げという生活環境、更に、23区協同歩調ではないという点から考え、わが党は値上げに反対である。

さらに、「財政難」を理由に、福祉施設入所者へのわずかな見舞金さえ打ちきるなど、昨年に引き続き区民施策を大幅にカットしている。その一方で、国際ファッションセンターへの50億円融資の約束や、錦糸町駅北口再開発など、大規模開発には優先的に予算措置などをおこなっている。

また、国民健康保険料改定についても、現下の財政状況に鑑み、やむを得ないと思うが、医療費削減などの抜本的な対策を講ずるよう、国に強く要請すべきである。

この委員会では、2月26日に正副委員長を互選し、その後3月12日までの延9日間にわたり、これら4件の予算の考え方や内容などについて、集中的に審査を行いました。

この委員会では、2月26日に正副委員長を互選し、その後3月12日までの延9日間にわたり、これら4件の予算の考え方や内容などについて、集中的に審査を行いました。

この委員会では、2月26日に正副委員長を互選し、その後3月12日までの延9日間にわたり、これら4件の予算の考え方や内容などについて、集中的に審査を行いました。

この委員会では、2月26日に正副委員長を互選し、その後3月12日までの延9日間にわたり、これら4件の予算の考え方や内容などについて、集中的に審査を行いました。

## ●新年度予算を特別委員会で集中審査

区議会では、今定例会2月26日の本会議で、区長から提案された平成9年度墨田区一般会計、国民健康保険特別会計、同老人保健医療特別会計、同用地特別会計の予算4件を審査するため、18名の委員からなる予算特別委員会を設置しました。

## 定例会で決まった議案

今回の定例会で決定した議案は以下のとおりです。

### ●区長提出議案

- 〈条例〉
  - ・墨田区組織条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区職員定数条例の一部を改正する条例
  - ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区長等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区施設使用料等返還金支払基金条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区事務手数料条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区収入証紙条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区特別区税条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区コミュニティ住宅条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区立公園条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区保健所使用条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区保健所運営協議会条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区保育所入所措置及び費用徴収に関する条例
  - ・墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例
  - ・墨田区特別区税条例の一部を改正する条例
- 〈予算〉
  - ・平成8年度墨田区一般会計補正予算
  - ・平成8年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算
  - ・平成8年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算
  - ・平成8年度墨田区用地特別会計補正予算
  - ・平成9年度墨田区一般会計予算
  - ・平成9年度墨田区国民健康保険特別会計予算
  - ・平成9年度墨田区老人保健医療特別会計予算
  - ・平成9年度墨田区用地特別会計予算
- 〈契約〉
  - ・物品の買入れについて
- 〈その他〉
  - ・特別区道路線の認定について
  - ・特別区道路線の認定について
  - ・特別区道路線の認定について
  - ・特別区道路線の認定について
  - ・特別区道路線の認定について
  - ・特別区道路線の認定について

### ●議員提出議案

- ・成人歯科健診事業の充実に関する意見書
- ・私立幼稚園保護者負担軽減補助の所得制限廃止に関する意見書
- ・動燃爆発事故の原因究明に関する意見書
- ・都区財政調整制度における調整率引き上げ等に関する意見書



## 編集後記

区議会では、平成9年第1回定例会会期中の予算審議等の委員会において、連日遅くまで、活発な論議が展開されていきました。区政の重要課題について審議している模様を、ぜひ一度傍聴されてはいかがでしょうか。

区議会事務局調査係  
☎5608-6352

次の定例会は6月に開かれる予定です。